

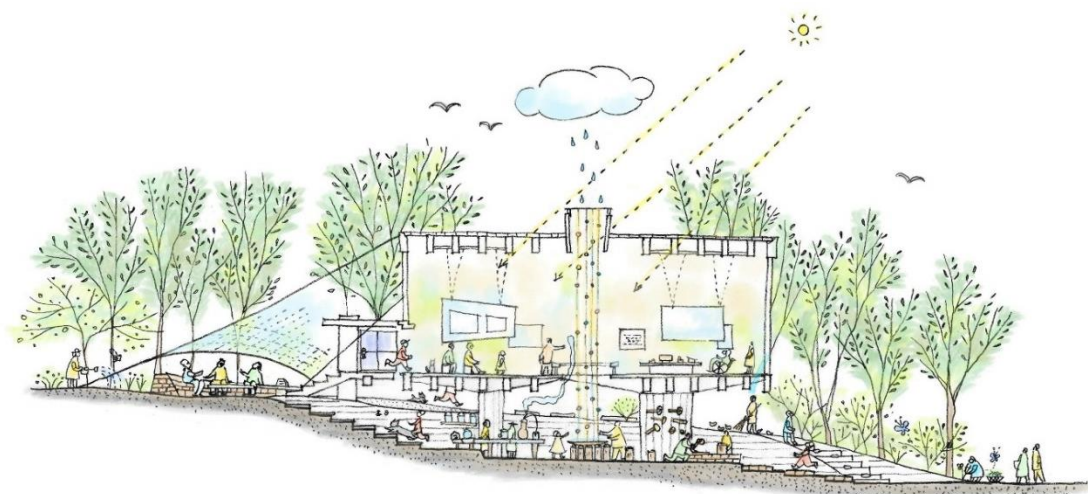
第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館展示

「愛される建築を目指して—建築を生き物として捉える」

報告会のご案内

国際交流基金（JF）は、第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館展示（開催期間：2023年5月20日～11月26日）のキュレーションチームをお招きし、報告会を実施いたします。

今年の日本館では、建築家の大西麻貴氏がキュレーター、そして建築設計事務所 o+h の共同代表を務める百田有希氏が副キュレーターを務め、建築家・吉阪隆正が手がけた日本館そのものにスポットを当てた展覧会「愛される建築を目指して—建築を生き物として捉える」が開催中です。本展では、テキスタイルデザイナー、窯業家、デザイナー、編集者、金工、アニメーターといった専門性の異なるチームメンバーが、吉阪が設計した日本館建築そのものを展示物と捉え、大西、百田の両氏が長年にわたり取り組んできたテーマである「愛される建築」を実践しました。本報告会では、展覧会が実現するまでの歩みや、日本館を通して実践された「愛される建築」の内容について、大西氏、百田氏、そして同じく本展のキュレーションチームを務める編集者の多田智美氏、デザイナーの原田祐馬氏に語っていただきます。キュレーションチーム4名が揃う貴重な機会ですので奮ってご参加ください。



展示コンセプトドローイング 2023 © o+h

報告会

日時： 2023年8月26日（土曜日）14時～15時30分

会場： 国際交流基金（JF）本部 ホールさくら

（東京都新宿区四谷 1-6-4 四谷クルーセ）

言語： 日本語

定員： 60名／参加無料

参加方法：事前申込制・先着順

締切： 2023年8月25日（金曜日）17時まで

参加申込フォーム <https://forms.gle/7dyiM2SafGr5NfVF7>

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

登壇者

大西 麻貴（建築家、o+h 共同代表）、百田 有希（建築家、o+h 共同代表）、原田 祐馬（デザイナー、UMA/design farm 代表）、多田 智美（編集者、MUESUM 代表）



撮影：原田祐馬



キュレーションチーム（左から）多田智美、大西麻貴、百田有希、原田祐馬

© 写真：原田祐馬

お問い合わせ

国際交流基金（JF）

文化事業部美術チーム 鈴木・神津

電話：03-5369-6061

Eメール：va@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角に変更してください。）